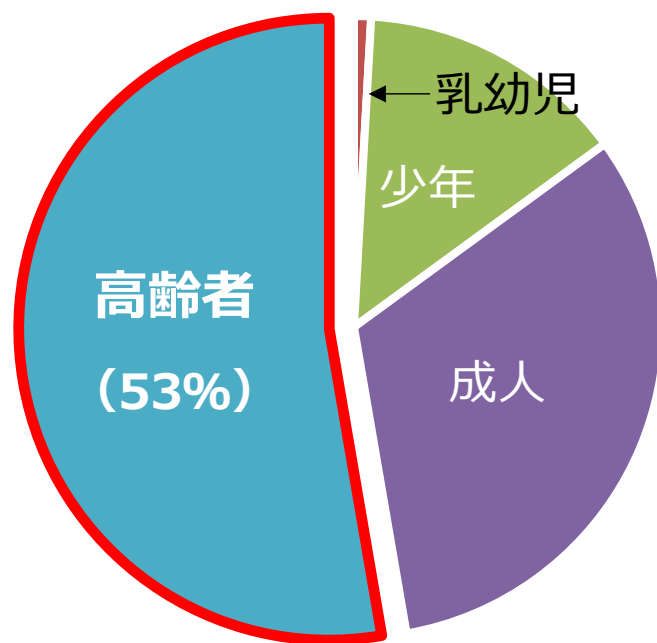


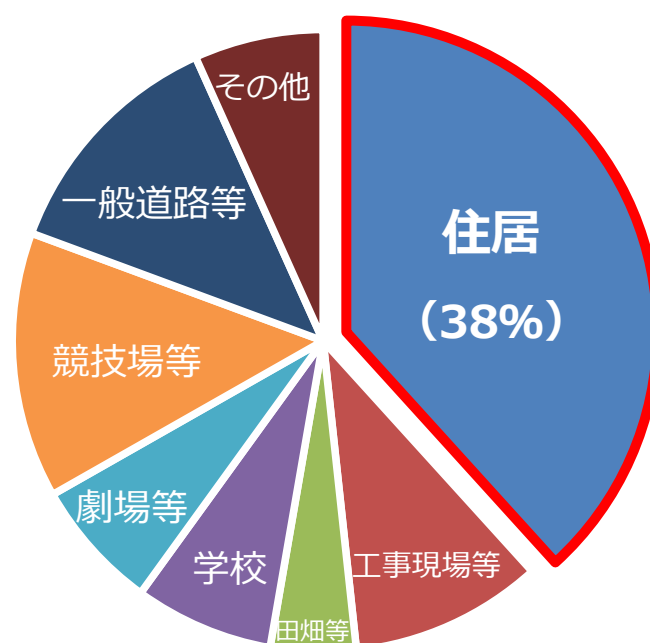
- 熱中症で救急搬送された方の「約 5 割」が「高齢者」
- 発生場所は「住居」が最も多く、「約 4 割」

(年代)



n = 7,934
(昨年5~9月)

(発生場所)



n = 7,934
(昨年5~9月)

※ 「令和元年度の熱中症による救急搬送状況」 (消防庁公表) より作成

○ 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための「新しい生活様式」における熱中症予防のポイントは、次のとおり。

① マスクの着用（着用時は強い負荷の運動を避け、こまめな水分補給を心掛ける）

② エアコンの使用

熱中症予防のためにはエアコンの活用が有効です。

ただし一般的な家庭用エアコンは、空気を循環させるだけで換気を行っていません。

新型コロナウイルス対策のためには、冷房時でも窓開放や換気扇によって換気を行う必要があります。

換気により室内温度が高くなりがちなので、エアコンの温度設定を下げるなどの調整をしましょう。

③ 涼しい場所への移動

④ 日頃の健康管理

(注) 令和2年度の熱中症予防行動の留意点について
(環境省・厚生労働省ホームページより抜粋)



○ スマートファミリープランご契約の場合、「1,500円」で55kWh※1
ご使用いただけます。

○ これは、夏場の冷房使用※2の24%に相当します。

※1 以下の単価を基に計算

スマートファミリープラン300kWh超過分電力量料金	24.96円/kWh
2020年8月分燃料費等調整	▲1.07円/kWh
再生可能エネルギー発電促進賦課金	2.98円/kWh

※2 「冷房能力2.8kW（8～12畳）」の夏季使用量の目安「234kWh*」
を基準に計算

* 「省エネ性能カタログ2019年版」（資源エネルギー庁ホームページ掲載）より

